

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公表番号】特表2005-530780(P2005-530780A)

【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-505039(P2004-505039)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/198	(2006.01)
A 6 1 K	31/4035	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/16	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/10	(2006.01)
A 6 1 P	27/14	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)

**A 6 1 P 41/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

**C 0 7 D 209/46 (2006.01)**

**C 0 7 J 5/00 (2006.01)**

**【 F I 】**

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/198

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 11/16

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 17/10

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 27/10

A 6 1 P 27/14

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 33/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 41/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 2 3  
 C 0 7 D 209/46  
 C 0 7 J 5/00  
 C 0 7 M 7:00

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

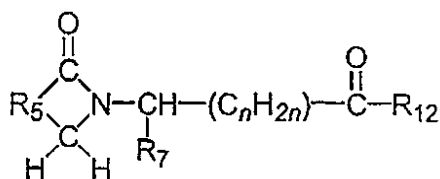
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

前記選択的サイトカイン阻害薬が、式(I)：

【化1】



(I)

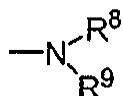
〔式中、nは、1、2、または3の値を有し；

$\text{R}^5$ は、無置換のo-フェニレン、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群からそれぞれ独立して選択される1～4個の置換基で置換されたo-フェニレンであり；

$\text{R}^7$ は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群からそれぞれ互いに独立して選択される1つ以上の置換基で置換されたフェニル、(ii)無置換のベンジル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群から選択される1～3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、あるいは(iv)ベンジロキシであり；

$\text{R}^{12}$ は、-OH、1～12個の炭素原子のアルコキシ、または

【化2】



であり、

$\text{R}^8$ は、水素または1～10個の炭素原子のアルキルであり；そして

$\text{R}^9$ は、水素、1～10個の炭素原子のアルキル、 $-\text{COR}^{10}$ 、または $-\text{SO}_2\text{R}^{10}$ (ここで、 $\text{R}^{10}$ は、水素、1～10個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルである)である]

で示される、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

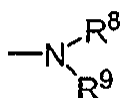
〔式中、nは、1、2、または3の値を有し；

$R^5$ は、無置換のo-フェニレン、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アシルアミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群からそれぞれ独立して選択される1～4個の置換基で置換されたo-フェニレンであり；

$R^7$ は、(i)フェニル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群からそれぞれ互いに独立して選択される1つ以上の置換基で置換されたフェニル、(ii)無置換のベンジル、またはニトロ、シアノ、トリフルオロメチル、カルボエトキシ、カルボメトキシ、カルボプロポキシ、アセチル、カルバモイル、アセトキシ、カルボキシ、ヒドロキシ、アミノ、1～10個の炭素原子のアルキル、1～10個の炭素原子のアルコキシ、および八口よりなる群から選択される1～3個の置換基で置換されたベンジル、(iii)ナフチル、あるいは(iv)ベンジルオキシであり；

$R^{12}$ は、-OH、1～12個の炭素原子のアルコキシ、または

【化2】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

〔式中、\*が付記された炭素原子は、キラリティーの中心に構成し；

Yは、C=O、CH<sub>2</sub>、SO<sub>2</sub>、またはCH<sub>2</sub>C=Oであり； $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、および $R^4$ は、それぞれ互いに独立して、水素、八口、1～4個の炭素原子のアルキル、1～4個の炭素原子のアルコキシ、ニトロ、シアノ、ヒドロキシ、もしくは-NR<sup>8</sup>R<sup>9</sup>であり；または隣接する炭素原子上の $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、および $R^4$ のうちの任意の2つは、示されたフェニレン環と一緒にあって、ナフチリデンであり；

$R^5$ および $R^6$ は、それぞれ互いに独立して、水素、1～4個の炭素原子のアルキル、1～4個の炭素原子のアルコキシ、シアノ、または18個までの炭素原子のシクロアルコキシであり；

$R^7$ は、ヒドロキシ、1～8個の炭素原子のアルキル、フェニル、ベンジル、またはNR<sup>8</sup>'R<sup>9</sup>'であり；

$R^8$ および $R^9$ は、それぞれ、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子のアルキル、フェニル、もしくはベンジルであり、または $R^8$ および $R^9$ のうちの一方は水素であり、かつ他方は-COR<sup>10</sup>もしくは-SO<sub>2</sub>R<sup>10</sup>であり、または $R^8$ および $R^9$ は、一緒にあって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、もしくは-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>X<sup>1</sup>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-(ここで、X<sup>1</sup>は、-O-、-S-、もしくは-NH-であり；そして

$R^{8'}$ および $R^{9'}$ は、それぞれ、互いに独立して、水素、1～8個の炭素原子のアルキル、フェニル、もしくはベンジルであり、または $R^{8'}$ および $R^{9'}$ のうちの一方は水素であり、かつ

他方は  $-\text{COR}^{10'}$  もしくは  $-\text{SO}_2\text{R}^{10'}$  であり、または  $\text{R}^{8'}$  および  $\text{R}^{9'}$  は、一緒になって、テトラメチレン、ペンタメチレン、ヘキサメチレン、もしくは  $-\text{CH}_2\text{CH}_2\text{X}^2\text{CH}_2\text{CH}_2-$  (ここで、 $\text{X}^2$  は、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{S}-$ 、もしくは  $-\text{NH}-$  であり、 $\text{R}^{10}$  は、水素、1 ~ 8個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルであり、 $\text{R}^{10'}$  は、水素、1 ~ 8個の炭素原子のアルキル、もしくはフェニルである) ]  
が挙げられる。